

ぺらっともいぞ。
そう言いながらふらっぺちやんは、ふわふわべらふわべら、風に吹かれて飛んでいきました。

小さな羊です。けれど繰り返しをせばきつと。

途中で何か動きはじめたのを感じていました。

そんなにすぐには変われません。けれどふらっぺちやんは自分の中で何か動きはじめたのを感じていました。

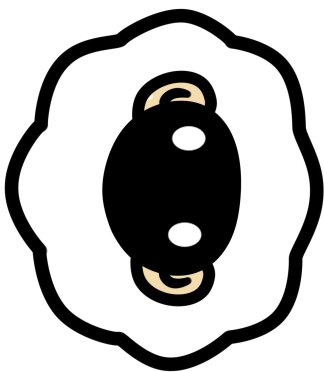
まだまだもやは消えません。

そんなに中身があって、こんなに魅力的じゃないか。

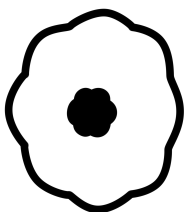
ぺらっとたちは厚みがなくとも目に見える厚が全じゃない。



〜ぞいーはーんぽんぽん〜



ぺらっとも
わるくはない



いまでもそう思う？

けれど。

ふらっぺちやんは密かにそんなことを願っていました。

みのある羊になりたい。

風に吹かれても飛ばされてしまわないような厚みのある羊になりたい。

つまり体に厚みがないのです。

羊の形をしています。横から見ると一直線。

ふらっぺちやんは前から見ても後ろから見てもたお悩みごとがありました。

実はふらっぺちやんにはずっと前からちよっとしたお悩みごとがありました。

まるで自分のようです。

触って、眺めて、読んで、使って。

そうこうしているうちにふらっぺちやんは気がききました。

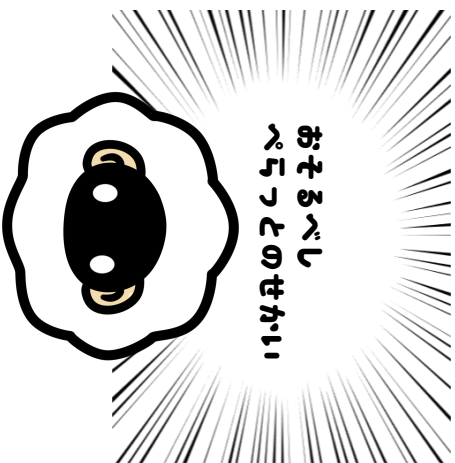
「ぺらっとしていて」

奥に個性豊かなぺらっとなつたちです。

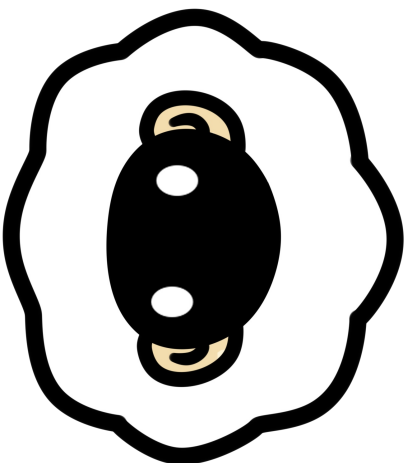
どのぺらっとも、A4サイズのぺらっとした紙1枚からできているとは思えない素晴らしさ。

ふらっぺちやんは思います。

おそろべし
ぺらっとのせかい！



ふらっぺちやん



おもろ

最近のふらっぺちやんは大忙しで、ぺらふさすの準備をしています。毎日届くぺらっつとを眺めては、にここふわふわしています。
ふらっぺちやんはぺらっつとが大好きです。どこかしら自分と似ているような気がするからかもしれません。
ふらっぺちやんの元には毎日、それはそれはたくさんのおぺらっつとが届きます。

今日は素敵な歌の折本。
今日はお洒落なデザインパーパー。
今日は短編小説の三つ折りパーパー。
今日はこれってどうやって作るの？なパーパーブック。

ふらっぺちやん

